

かけはし

沖代小学校だより 第3号

平成28年6月 発行

文責：栗田 英代

<http://syou.oita-ed.jp/nakatu/okidai>

体験活動を通して、生活に生きる学びを

6月15日(水)、5年生が田植えを行いました。地域の久恒さんご夫妻、福成さんにお世話して頂くようになって11年目になります。半年に渡る米作りのほんの一部である田植えと稲刈り・脱穀を体験してもらい、あとは管理して頂くのですが、田に入らなければ、その大変さや喜び、天気や他の生き物との関わり等々を、想像することは難しいでしょう。稲作の方法や成長の過程は、インターネットで即時に分かる時代になりました。しかし、だからこそ、分かった気にならず、体験を通して、そこにある生活を学ぶことが大切だと痛感します。



2年生は、のじこの会のみなさんに支柱立てをしていただき、ミニトマトとキュウリの苗植えをしました。3年生は、新しい学習である毛筆や伝統的な日本の文化である俳句を、達人を招いて教えて頂きました。学校だけでは、なかなかできないことを、地域の方が先生になって下さって、体験して学ぶことができるのはありがたいことです。これからも、子どもたちを、地域の方、保護者の方、みなさんで育てていってください。

たかが姿勢、されど姿勢

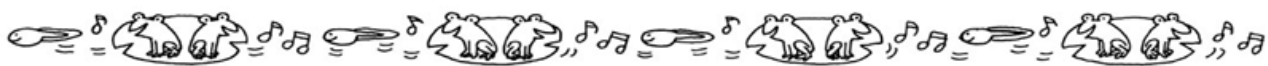
お客さんが来校することが多かった6月。授業をご覧になった多くの方がおっしゃってくださるのが「姿勢が良いですね～。去年より、良くなってきましたね」ということ。中にいると気がつかないことだったのですが、子どもたち自身が身につけてきていることは確かです。姿勢をよくすることは、子どもにとってどんなことが良いのでしょうか？

体にとってはもちろんですが、実は、「**自制心**」が鍛えられるのです。「場にふさわしい姿勢を、**自分で自分の心にピッと命令**を出して、すぐにできる」このくり返しが自制心スイッチを高め、その他のよりよい習慣や行動を自分で起こすことに、つながっていくようです。

ある研究によると、「**テストなどでは測れないけれど、人生の成功や幸福感と強く関連する能力**」で、特に重要な能力が、「**自制心**」と「**やり抜く力**」だとか。まさしく、学校で、先生たちが根気強く指導している力です。



3月に退職された岡崎慶子先生が、退職を機に、お世話になった沖代小学校に何かをしたいとの願いから、校門の校名プレートを寄贈してくださいました。大きく目につきやすくなり、外国人の方にも分かる英語表記です。来校の際は、ぜひ立ち止まってご覧下さい。ありがとうございました。

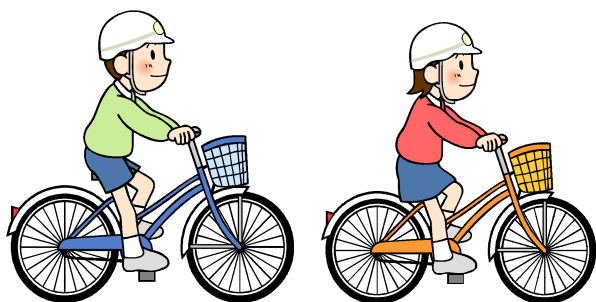


水路を大切にしましょう！

沖代小校区には水路がたくさんあります。田植えの季節になり、田んぼに水が入ります。毎年この時期になると、「子どもたちが田んぼの水をせき止めている板をはずしたり、流したりするいたずらをして困る。」という苦情が寄せられます。また、水路の水が増えた際、近くで遊んでいると大変危険です。学校では、水路に近づかないよう、水路で遊ばないよう指導をしています。水田や稲作の大切さ、家庭でも話題にして下さい。



「自転車の乗り方」 家庭でも話題にして！！



「子どもが自転車で2列になっているので、車が通れない。」「突然、とびだして来るので、ひやひやする」等々……

子どもの自転車の乗り方に関して、いろいろな声を聞きます。確かに、『ヒヤッ』とする場面は多くあるようです。

子どもの命を守るためにも、家庭で「自転車の乗り方」について話し合ってもらいたいと考えます。

- ・ 自転車は、1列で。
- ・ 交差点では、必ず止まる
- ・ 乗る前には点検を

ヘルメットの着用を

保護者との自転車同乗時や自ら自転車を乗車中に事故や転倒によってケガあるいは死亡した際、そのダメージの「6割」が頭部、というデータがあります。子どもは大人に比べて頭が重く、転倒した際頭にケガをしやすい傾向がありますので、お子様の同乗時および乗車中は必ずヘルメットを着用させて、万一のために頭を守ってあげる事が最も有効となります。

